



令和4年度 スポーツクライミング埼玉県国民体育大会代表選手選考基準

令和4年6月

(一社) 埼玉県山岳・スポーツクライミング協会

埼玉県代表選手を選考する権限は、(一社) 埼玉県山岳・スポーツクライミング協会(以下「当協会」という。)が有する。選手の選考は、以下の基準に基づき、競技部が推薦し、当協会理事会で承認することで決定する。

1. 選考される選手の前提条件

- (1) (公財) 日本スポーツ協会(以下「JSPO」という。)の定める国民体育大会(以下「国体」という)参加資格を満たしている者。 ※参照 <https://www.japansports.or.jp/kokutai/tabid191.html>
- (2) (公社) 日本山岳・スポーツクライミング協会(以下「JMSCA」という。)に選考される年度の選手登録をしている者(A登録かB登録かは問わない)。

2. 選考方法と選考基準

- (1) JSPOの定める「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置」(以下「特例措置」という。)対象者。
 - ① リード競技及びボルダリング競技の種目の両方で特例措置対象になっている選手。
 - ② リード競技又はボルダリング競技の種目の内、いずれかの特例措置対象になっている選手。(1)①に該当する選手は選考に際し最優先で考慮する。また、(1)②に該当する選手及び該当する複数の選手がいる場合においては、国体の種目によるJMSCA主催するジャパンカップ(以下「ジャパンカップ」という。)及び同等の競技会の成績を勘案し、考慮する。
- (2) 当協会主催の国体予選会(以下「予選会」という)の成績による方法。
 - ① コバトンボルダリングカップの出場者。
 - ② リード加須クライミングカップの出場者。当協会の主催する予選会の成績による選考は、上位のクラス(エキスパート等)で上位の順位を有する選手を優先し、(2)①、②の予選会で同等な成績に複数の選手がいる場合には、ジャパンカップ及び同等の競技会の成績を勘案し考慮する。
- (5) 予選会が不測の事態で開催できない場合の措置については、前年度の国体及び国体ブロック大会、並びにジャパンカップ及び同等の競技会の成績を勘案し、総合的に判断して選考を行う。

3. 選考人数

成年男子、成年女子、少年男子、少年女子の各種別3名ずつ(正代表2名及び予備登録選手1名)合計12名。(ただし、条件を満たす選手がその種別で3名に満たない場合はその限りではない。)

4. 選考の指針

選考の優先順位は以下の通りとする。

- (1) JSPO 予選会免除対象選手。
- (2) 予選会2大会のリザルト。

国体関東ブロック大会及び国体の県代表選手の選考は、その時点での力量・コンディション等を総合的に判断し、行動規範を重視し、埼玉県を代表するにふさわしい選手を最終選考する。

5. 補足

ジャパンカップと同等の競技会には、JMSCAの主催する日本ユース選手権（リード・ボルダリング）、及びジャパンツアー各競技会、全国高等学校体育連盟の主催する全国高等学校選抜スポーツクライミング選手権大会をいう。